



# 平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月30日

上場取引所 東大

上場会社名 小林製菓株式会社

コード番号 4967 URL <http://www.kobayashi.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 豊

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 グループ統括本社本部長 (氏名) 山根 聡

TEL 06-6231-1144

四半期報告書提出予定日 平成24年2月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	102,736	0.4	16,743	△0.6	17,185	1.5	9,473	△5.2
23年3月期第3四半期	102,358	0.0	16,839	3.8	16,927	6.1	9,997	10.3

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 9,319百万円 (19.0%) 23年3月期第3四半期 7,830百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	231.35	—
23年3月期第3四半期	244.15	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第3四半期	144,381	97,863	67.7	2,386.02
23年3月期	134,356	91,342	67.9	2,226.42

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 97,704百万円 23年3月期 91,169百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	33.00	—	33.00	66.00
24年3月期	—	35.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	131,000	0.1	18,700	0.4	19,100	0.5	10,000	7.1	244.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
新規 一社 (社名) 、 除外 1社 (社名) 小林メディカル アメリカ エルエルシー  
(注)詳細は、添付資料P4「2. サマリー情報(その他)に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	42,525,000 株	23年3月期	42,525,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	1,576,187 株	23年3月期	1,575,987 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	40,948,945 株	23年3月期3Q	40,949,091 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	8
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(4) セグメント情報等 .....	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10
(6) 重要な後発事象 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、平成23年3月に発生しました東日本大震災による甚大な被害から、企業活動や消費マインドが低下し、さらに福島第一原子力発電所の事故や電力供給不足等もあり、極めて先行き不透明な状況で推移しました。

そうした状況の中で当社グループは、経営理念「人と社会に素晴らしい快を提供する」の精神を一層発揮すべきときと考え、被災した製造拠点である仙台小林製薬株式会社の復旧に全力をあげるとともに、同社で製造していた製品に関しては、当社グループの他の製造拠点において代替生産を開始し、製品の安定供給に最大限努めてまいりました。当社グループをあげて取り組んだ結果、6月には震災前の生産体制に回復しております。

さらに、かねてより取り組んでまいりました新市場を創造する製品やサービスの提供により、顧客の潜在ニーズを掘り起こし市場の活性化に努めました。

その結果、売上高は102,736百万円と前年同期と比べ378百万円(0.4%)の増収、営業利益は16,743百万円と前年同期と比べ95百万円(△0.6%)の減益、経常利益は17,185百万円と前年同期と比べ258百万円(1.5%)の増益となりました。四半期純利益においては9,473百万円と前年同期と比べ524百万円(△5.2%)の減益となりました。

セグメントの業績の概要は次のとおりであります。

#### 家庭用品製造販売事業

当事業では今秋、新市場の創造と既存市場の拡大に努めた新製品を9品目発売いたしました。なかでも、歯ぐき下がりを防ぐ薬用ハミガキ「トマリナ」、くすみ感のない明るい肌へと導く美容水「巡り肌 漢草美容水」に注力しております。

カテゴリ別では、節電対策が求められる中、額用冷却シート「熱さまシート」、冷却ジェルマット「熱さまひんやりジェルマット」や、衣類をひんやりコートする冷感持続スプレー「シャツクール」など暑さ対策製品がお客様のニーズをとらえ売上を伸ばした結果、衛生雑貨品が大きく伸長しました。また、気温が低くなったこともありカイロの出荷が好調に推移しました。

一方、東日本大震災で仙台小林製薬株式会社が被災したため、主に芳香・消臭剤を中心に震災から数ヶ月間、一日の出荷数量を限定する割当出荷体制をとった影響などもあり、芳香・消臭剤の売上が落ち込みました。

その結果、売上高は88,627百万円と前年同期と比べ1,258百万円(1.4%)の増収、セグメント利益(経常利益)は15,545百万円と前年同期と比べ256百万円(1.7%)の増益となりました。なお、営業利益は16,075百万円と前年同期と比べ49百万円(0.3%)の増益となりました。

(売上高の内訳)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)		増減	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	増減率 (%)
医薬品	17,016	19.5	17,607	19.9	590	3.5
口腔衛生品	12,164	13.9	12,599	14.2	435	3.6
衛生雑貨品	10,334	11.8	10,980	12.4	645	6.2
芳香・消臭剤	26,218	30.0	24,531	27.7	△1,686	△6.4
家庭雑貨品	3,968	4.5	3,900	4.4	△68	△1.7
食品	6,788	7.8	7,091	8.0	303	4.5
カイロ	10,876	12.5	11,916	13.4	1,039	9.6
合計	87,368	100.0	88,627	100.0	1,258	1.4

(注) 売上高には、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおり、その金額は前第3四半期連結累計期間では計2,327百万円、当第3四半期連結累計期間では計2,413百万円となっております。

## 通信販売事業

当事業では栄養補助食品、スキンケア製品等の通信販売を行っており、積極的な広告展開やダイレクトメールを中心とした販売促進により、新規顧客の開拓と既存顧客への購入促進に努めました。

その結果、売上高は7,777百万円と前年同期と比べ394百万円(5.3%)の増収、セグメント損失(経常損失)は88百万円(前年同四半期はセグメント利益148百万円)となりました。なお、営業損失は90百万円(前年同四半期は営業利益144百万円)となりました。

売上高には、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおりません。

## 医療関連事業

当事業では国内で市場の拡大が見込まれる整形外科領域、手術室関連領域に特化する選択と集中をはかりました。また、平成23年7月31日付でMBO方式によりイーベントメディカルインコーポレーティッドの全株式を譲渡しました。

その結果、売上高は7,908百万円と前年同期と比べ1,150百万円(△12.7%)の減収、セグメント利益(経常利益)は794百万円と前年同期と比べ37百万円(4.9%)の増益となりました。なお、営業利益は204百万円と前年同期と比べ73百万円(△26.5%)の減益となりました。

(売上高の内訳)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)		増減	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	増減率 (%)
小林メディカル	7,588	83.8	6,687	84.6	△900	△11.9
イーベント社	665	7.3	427	5.4	△237	△35.7
その他	804	8.9	792	10.0	△11	△1.5
合計	9,058	100.0	7,908	100.0	△1,150	△12.7

(注) 売上高には、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおりません。

## その他事業

上記の3事業をサポートする当事業(運送業、合成樹脂容器の製造販売、保険代理業、不動産管理、広告企画制作等)では、各社が独立採算で経営をしているものの、主要3事業への利益貢献もその目的としており、資材やサービス提供についてその納入価格の見直しを適宜行いました。

その結果、売上高は4,935百万円と前年同期と比べ16百万円(0.3%)の増収、セグメント利益(経常利益)は1,091百万円と前年同期と比べ310百万円(39.7%)の増益となりました。なお、営業利益は556百万円と前年同期と比べ171百万円(44.5%)の増益となりました。

売上高には、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおり、その金額は前第3四半期連結累計期間では計4,042百万円、当第3四半期連結累計期間では計4,098百万円となっております。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

総資産は、前連結会計年度末に比べ10,025百万円増加し、144,381百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の増加(3,479百万円)、受取手形及び売掛金の増加(7,465百万円)、商品及び製品の増加(1,149百万円)等によるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ3,504百万円増加し、46,517百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金の増加(995百万円)、未払金の増加(1,092百万円)、未払法人税等の増加(1,500百万円)及び賞与引当金の減少(1,008百万円)等によるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ6,521百万円増加し、97,863百万円となり、自己資本比率は67.7%となりました。主な要因は、利益剰余金の増加(6,689百万円)、その他有価証券評価差額金の増加(388百万円)、繰延ヘッジ損益の減少(237百万円)及び為替換算調整勘定の減少(305百万円)等によるものです。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間につきましては、概ね計画に沿った業績推移をしているため、平成23年5月6日に発表いたしました通期の業績予想は修正いたしておりません。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

### （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

小林健康医薬株式会社は清算したため、第2四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

また、イーベント メディカル インコーポレーティッドの全株式について株式譲渡したため、イーベント メディカル インコーポレーティッド及びその100%子会社であるイーベント メディカル リミティッドは、第2四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

なお、イーベント メディカル インコーポレーティッドの株式を保有しておりました小林メディカル アメリカ エルエルシーは重要性が無くなったため、第2四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

### （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	31,963	35,442
受取手形及び売掛金	29,879	37,345
有価証券	11,005	11,003
商品及び製品	8,402	9,551
仕掛品	477	385
原材料及び貯蔵品	2,015	2,031
繰延税金資産	4,170	3,589
その他	1,284	1,403
貸倒引当金	△361	△60
流動資産合計	88,837	100,692
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,042	5,944
機械装置及び運搬具（純額）	2,306	2,109
工具、器具及び備品（純額）	1,016	874
土地	3,471	3,471
リース資産（純額）	1,213	890
建設仮勘定	107	157
有形固定資産合計	14,156	13,448
無形固定資産		
のれん	4,021	3,407
商標権	677	554
ソフトウェア	897	885
リース資産	74	53
その他	250	249
無形固定資産合計	5,922	5,150
投資その他の資産		
投資有価証券	17,251	17,283
長期貸付金	500	500
繰延税金資産	2,334	1,939
投資不動産（純額）	3,113	3,115
その他	2,431	2,446
投資損失引当金	—	△8
貸倒引当金	△191	△187
投資その他の資産合計	25,440	25,090
固定資産合計	45,518	43,689
資産合計	134,356	144,381

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,880	13,875
短期借入金	25	24
未払金	12,859	13,951
リース債務	462	406
未払法人税等	2,177	3,677
未払消費税等	567	590
返品調整引当金	1,661	1,731
賞与引当金	2,086	1,078
資産除去債務	13	13
その他	1,790	2,652
流動負債合計	34,525	38,001
固定負債		
リース債務	874	577
退職給付引当金	5,159	5,264
役員退職慰労引当金	14	15
資産除去債務	73	87
その他	2,366	2,572
固定負債合計	8,488	8,516
負債合計	43,013	46,517
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,450	3,450
資本剰余金	4,219	4,219
利益剰余金	92,185	98,874
自己株式	△4,701	△4,701
株主資本合計	95,154	101,842
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	489	878
繰延ヘッジ損益	△599	△836
為替換算調整勘定	△3,874	△4,180
その他の包括利益累計額合計	△3,984	△4,138
新株予約権	160	159
少数株主持分	12	—
純資産合計	91,342	97,863
負債純資産合計	134,356	144,381



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	102,358	102,736
売上原価	43,628	42,814
売上総利益	58,729	59,922
販売費及び一般管理費	41,890	43,179
営業利益	16,839	16,743
営業外収益		
受取利息	55	101
受取配当金	214	216
受取ロイヤリティー	439	432
不動産賃貸料	205	206
持分法による投資利益	253	215
その他	235	357
営業外収益合計	1,404	1,530
営業外費用		
支払利息	46	38
売上割引	894	884
不動産賃貸原価	59	57
為替差損	284	64
その他	31	43
営業外費用合計	1,315	1,087
経常利益	16,927	17,185
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	53	—
受取保険金	—	25
その他	5	0
特別利益合計	58	27
特別損失		
固定資産除売却損	40	51
投資有価証券評価損	—	264
投資損失引当金繰入額	31	8
子会社株式売却損	—	625
子会社清算損	31	0
減損損失	26	1
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	25	—
災害による損失	—	35
その他	9	18
特別損失合計	164	1,005
税金等調整前四半期純利益	16,821	16,207
法人税、住民税及び事業税	6,715	5,796
法人税等調整額	108	937
法人税等合計	6,823	6,734
少数株主損益調整前四半期純利益	9,998	9,473
少数株主利益又は少数株主損失(△)	0	△0
四半期純利益	9,997	9,473

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	9,998	9,473
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△942	388
繰延ヘッジ損益	△304	△271
為替換算調整勘定	△799	△305
持分法適用会社に対する持分相当額	△121	34
その他の包括利益合計	△2,167	△153
四半期包括利益	7,830	9,319
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,829	9,320
少数株主に係る四半期包括利益	0	△0

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	家庭用 品製造 販売	通信 販売	医療 関連	計				
売上高								
外部顧客への売上高	85,040	7,382	9,058	101,481	876	102,358	—	102,358
セグメント間の内部売上 高又は振替高	2,327	—	—	2,327	4,042	6,370	△6,370	—
計	87,368	7,382	9,058	103,809	4,919	108,728	△6,370	102,358
セグメント利益	15,289	148	757	16,195	781	16,976	△49	16,927

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送業、合成樹脂容器の製造販売、保険代理業、不動産管理、広告企画制作等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△49百万円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

固定資産にかかる重要な減損損失を認識していないため、また、のれんの金額に重要な変動が生じていないため、固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報の記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	家庭用 品製造 販売	通信 販売	医療 関連	計				
売上高								
外部顧客への売上高	86,214	7,777	7,908	101,899	837	102,736	—	102,736
セグメント間の内部売上 高又は振替高	2,413	—	—	2,413	4,098	6,511	△6,511	—
計	88,627	7,777	7,908	104,313	4,935	109,248	△6,511	102,736
セグメント利益又は損失 (△)	15,545	△88	794	16,252	1,091	17,344	△158	17,185

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送業、合成樹脂容器の製造販売、保険代理業、不動産管理、広告企画制作等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△158百万円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

「医療関連事業」において、一部の事業領域で撤退を行ったことにより、前連結会計年度の末日に比べ、当第3四半期連結累計期間の報告セグメントの資産の金額は1,471百万円減少しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

固定資産にかかる重要な減損損失を認識していないため、また、のれんの金額に重要な変動が生じていないため、固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報の記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

「買収による子会社化」

当社連結子会社のヒートマックス インコーポレーティッドは、平成24年1月1日付で、グラバー インコーポレーティッドを買収し子会社と致しました。

なお、グラバー インコーポレーティッドは、当該会社とワイエスシー インコーポレーティッドにより構成されております。

1. 目的

北米地域におけるカイロビジネスを拡大するため。

2. 株式の取得先

ワグナーホールディングス

3. 対象会社の概要

(1) 名称	グラバー インコーポレーティッド
(2) 所在地	米国ミシガン州 グランドラピッズ
(3) 事業内容	カイロ等の販売
(4) 規模	①総資産 15,952千米ドル (平成22年12月31日現在) ②売上高 17,341千米ドル (平成22年12月期)
(5) 株式の取得時期	平成24年1月1日
(6) 取得後の持分比率	100%